

避難訓練（火災想定／予告なし）実施要綱（案）3/5

1 目的

火災報知器発報時における火災放送を真剣に聴き，児童が主体的に判断し，安全かつ速やかな避難行動を考えることができる。

2 日時 平成30年3月6日（火）10時20分（休み時間にかかる可能性有）

3 想定 **職員室前（火災報知器発砲）**

4 通報

「訓練。訓練。今から火災報知器が鳴ります。
児童のみなさんは、その場で火災放送を真剣に聴きなさい。」
訓練。訓練。火災報知器が発砲します。火災放送を聴きなさい。

5 避難 現在地の避難経路を原則とするが、避難経路に延焼の恐れがある場合は適宜判断し、安全な経路により避難する。

6 避難場所 校庭中央 ※校庭南側寄りに、全校集会の隊形に整列する。

今回は、避難しない。火災放送を聴く。避難行動を考える。

7 事前指導

学級で、授業中・休み時間・放課後等、あらゆる場面を想定する中での指導をし、安全への関心を高めるようにする。訓練日時の予告や直前の指導はしない。
《指導事項》

- ・通報指示を正しく聞き取ること。
- ・近くにいる教師の指示に従うこと。

- ・教師がいない場合は出火場所から離れる避難経路を自ら判断すること。
- ・低学年生に対して高学年生が指示したり誘導したりすること。
- ・無駄口をきかずに、素早く行動すること。
- ・廊下や階段で他人を押ししたり、走ったりしないこと。

「おさない はしらない しやべらない もどらない」

8 職員の係

教室で避難行動等のシミュレーションをする

- 校長・・・総括及び避難後の防災講話
- 教頭・・・校長補佐／指示伝達（通報）
- 教務主任・・・指示伝達（通報）補助／児童誘導・確認（児童玄関）
- 学年主任・・・校内確認（学年教室に関わる階）児童掌握
- 担任（主任以外）・・・児童誘導（現在地から児童を誘導しながら校庭で確認）
- 養護教諭・・・保健室内の児童誘導／救護
- 司書・・・図書室内の児童誘導
- 他職員・・・1階児童誘導及び校内確認（必要に応じ2・3階確認補助）

9 準備品

※事前に確認のみお願いします。

携帯用マイク（教頭） 防災バッグ《児童名簿含》（持出可能な場合）
ヘルメット（着用可能な場合） 救急薬品（養護教諭） 濡れ雑巾（教務）

《訓練の流れ》

- ①通報（教頭）
- ②避難（校舎内児童は上履きのまま校庭へ／校庭の児童は直接整列場所に）
- ③整列（学年学級毎）
- ④人員確認（学級担任）
- ⑤報告「〇年〇組 在籍数〇名 欠席者数〇名 現在数 〇名 不明者数〇名」
- ⑥防災講話及び訓練の講評（渡辺校長）
- ⑦解散（足の裏を拭いて教室に）

《訓練の流れ》

- ①通報（教頭）
- ②避難（校舎内児童は上履きのまま校庭へ／校庭の児童は直接整列場所に）
- ③整列（学年学級毎）
- ④人員確認（学級担任）
- ⑤報告「〇年〇組 在籍数〇名 欠席者数〇名 現在数 〇名 不明者数〇名」
- ⑥防災講話及び訓練の講評（渡辺校長）
- ⑦解散（足の裏を拭いて教室に）